

学力向上対策室だより

R8
2月

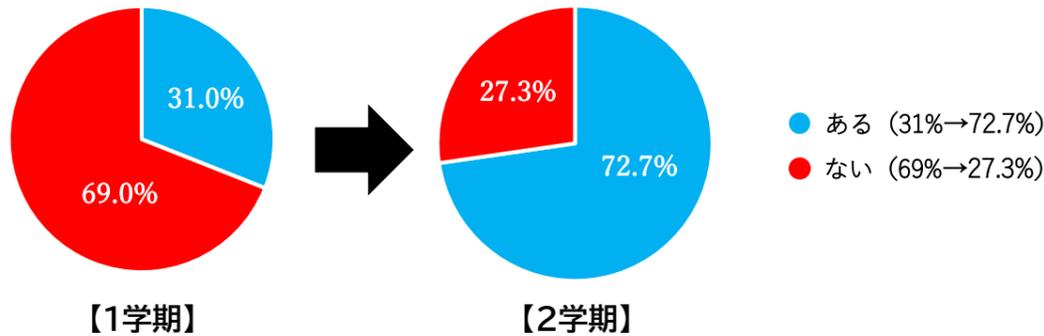
～ 2学期 AIドリルアンケートを受けて ～

11月28日～12月12日の期間に学校を通じて実施しましたAIドリル「navima」に関する保護者アンケートにご協力いただきありがとうございました。合計439人の方からご回答をいただきました。今回は、2学期に実施したアンケートの結果を基に、利用状況や課題を整理し、今後の取組についてお伝えします。

1. AIドリルで勉強する姿が見られるように！

今回の調査の結果では、ご覧のとおり、お子さまが家でnavimaに取り組んでいる姿を見たことがあるという回答が一気に急増しました。

お子さんが家でnavimaに取り組んでいる姿を見たことがありますか？



この背景には、夏休みや冬休みに、AIドリルを宿題として扱う学校が増えていることが考えられます。小学校教員を対象に行った調査でも、「日々の宿題としてAIドリルを活用している」という割合が増加していました。

今後、時代の流れとともにICTの活用は増えていくものと考えられます。しかしながら、ICTの活用がすべての場面で最適であるとは言い切れません。画面の長時間視聴が視力に与える影響や、AIドリルの機能面における課題等も依然として存在しています。

大切なことは、ICTの使い方であって、デジタルとアナログ（紙）についても、どちらが良いとかどちらが悪いとかではなく、それぞれの良さを活かすことが重要です。

今後も学習内容を踏まえ、子どもたちにとって最も効果的な活用（復習や過去問を解く、自分に合わせた自学自習の際など）を見極めながら、デジタルとアナログのバランスを取りつつ、AIドリルの活用を進めていきたいと思えます。



2. 保護者の方からのご意見より

【課題点】フリーズする、反応が悪いなどの動作の重さに関するご意見

開発業者に確認したところ、「インターネットタブを複数開いたままにすると通信速度が低下することがあり、タブを減らして使用していただければ、動作が軽くなると思われます。考えられるのは、各ご家庭の通信状況の影響、もしくは、多くのタスクの並行利用の影響」とのことです。引き続き、開発業者とは改善策について、確認と検討を続けます。

3. 全国の先生向けサイトに特集されました

全国の先生に向けた「先生向けnavima活用ナビ『navimaナビ』」で、AIドリルを活用し、自分のペースで問題に向き合う信達小学校の取組が特集されました。泉南市小中学校の取組の掲載は、今回で3例目になります。泉南中学校と一丘小学校の記事も含め、右下のQRコードからご覧になってください♪



navima ナビ
先生向けnavima活用ナビ



4. iPad回収後も、ご家庭の端末等からnavimaの利用ができます。

タブレット端末が使用できない期間中は、ご家庭のパソコン、スマートフォン、タブレット端末等から「navima」をご利用いただけます。以下の手順でご利用いただけますので、ご確認ください。

1. Webで「学びポケット」を検索し、ログインしてください。
2. 学校コードを入力してください。（学校からの案内に書かれています）
3. お子様のGmailアドレスとパスワードを入力してください。
4. 「navima」の画面が表示されます。



泉南市教育委員会 教育部 学力向上対策室
〒590-0505 大阪府泉南市信達大苗代 374-4
TEL : 072 (483) 3673

花笑み
sennan